

みんなの議会

2019.2.1



今号の内容

12月定例会で決まったこと……	2
7議員が町政を問う 一般質問 ……	8
平成30年度議会報告会……………	16
東吾妻中学生議会を開催……………	20
各委員会からの活動報告……………	24
まちの声……………	26

1年の健康を願ってどんどん焼き（1月14日／川戸地内）

平成30年 12月定例会で決まったこと

会期：12月4日～13日（10日間）

平成30年第4回（12月）

定例会に提出された議案など

●町長からは16件（条例関係12件、補正予算4件）の議案が提出されましたが、いずれも原案どおり可決されました。

なお、一般質問は7人の議員が行い町政を質しました。

（15ページの「議案などの審議結果」参照）

平成30年度一般会計補正予算が可決されました

歳入歳出にそれぞれ2億1156万1000円を追加し、総額をそれぞれ84億7472万4000円としました。

議員や特別職、職員の期末手当などが改正されました

人事院勧告に準拠し、また群馬県人事委員会の

●診療所に勤務する医師の初任給調整手当を500円引き上げます。

東吾妻町農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質疑

議員 この条例第4条の第2項第3号は、集団的・常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益となると認められるときという表現になっているが、利益にならうがなるまいが、この施設を使用させることができないと思うが。

総務課長

第4条第2項第1号で公の秩序または善良の風俗を害するおそれがあると認められるときは、一般的にはそういった団体には貸さない」と述べているのであり、改めて組織の利益ということで強調させていた。

議員 第1号はその利益の形態を言っているものであり、第3号は使用する者あるいは団体を言っているのであり意味が違ふと思うが。

総務課長

第1号はそれらの団体を含めた大きな枠の中での設定で、第3号はそういった組織の利益になるということで特定した。

東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質疑

議員

移動系の防災行政無線は全て廃止で、それに代わる衛星無線だとかを配置しているようだが、もう一度現在の状況を説明してほしい。また、それにかわる移動系のものが設置されているのなら、新たに条例を制定しなければならぬと思うが。

総務課長

移動系にかわ

平成30年度 補正予算 一覧

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計 (第5号)	2 億 1156 万円	84 億 7472 万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	347 万円	19 億 7042 万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	-78 万円	1 億 41 万円
下 水 道 事 業 特 別 会 計	-30 万円	5 億 3251 万円
簡 易 水 道 特 別 会 計	240 万円	8182 万円

※第4回定例会(12月)で決まりました

平成30年度 補正予算 一覧

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計 (第4号)	81 万円	82 億 6316 万円

※第4回臨時会(10月5日)で決まりました

り携帯電話などがあり、また火事などについては本団と分団が相互無線で結ばれている。通信が途絶えた場合でも、郡内は衛星電話で連絡できる体制ができています。

地域政策課が課名変更となります

4月1日から、行政組織の見直しに伴い「地域政策課」が「まちづくり推進課」と課名が変更さ

れます。

また、広報及び広聴に関すること(広報ひがしあがつまの発行など)が、企画課から総務課に所管がえとなります。

コンベンションホールに改称されます

これまで東吾妻町コンベンションホールとして町民に親しまれてきた「東吾妻町交流促進センター ふれあいの館 コンベンションホール」の施設名称が、4月1日から「コンベンションホール」と改称されます。

太田社会体育館と太田スポーツ広場を廃止

旧太田中学校を利用した太田社会体育館と太田スポーツ広場は、3月1日をもって体育施設から削除されます。

その他決まったこと

- 東吾妻町都市公園条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例

平成30年第4回臨時会(10月5日)

平成30年度一般会計補正予算が可決

歳入歳出にそれぞれ81万円を追加し、総額をそれぞれ82億6316万3000円としました。

町は平成30年1月29日付けで、旧国民宿舎榛名吾妻荘の指定管理者に対し、施設使用納付金1077万9000円の支払いを求める訴えを前橋地方裁判所に起こしていましたが、和解が成立しま

した。

質 疑

議員 750万円で和解するということだが、裁判所から和解金額の根拠が示されたのか。

地域政策課長 訴訟の対象とした施設使用納付金の7割でどうかと提案があった。

議員 裁判所からの勧告は7割が相場なのか。

地域政策課長 お互いの主張と公判の中で落ち着いたのだと思う。

議員 750万円は確実に入ってくるのか。

地域政策課長 納めているたぐいことになっている。

議員 弁護士費用は750万円の中から出るのか。

地域政策課長 成功報酬として、その1割と消費税が今後かかる費用である。

その他決まったこと

■工事請負契約の締結

町民体育館の改修工事
で、工期は平成31年2月
28日まで。

●契約金額…5356万
8000円

●契約相手…宮崎工務店
(株) 代表取締役 宮崎
通(東吾妻町)

質 疑

議員 医務室を湯沸かし
室にするらしいが、医務
室に変わるものは。

教育課長 管理事務室が
広くなり空調設置をし、
ミーティングルームなど
にも空調設置をするので
医務室的な対応ができる
と考える。

議員 休む方の出入りな
どは大丈夫か。

教育課長 救急車が来た
場合のストレッチャーの
搬入搬出まではわからな
いが、対応できるよう事
務室も広げる。

議員 図面が3枚あるが
委員会にはつないだのか。
また、契約方法は条件付
き一般競争入札というこ

とだが、その「条件付き」
とは何なのか。

教育課長 委員会の中で
改修の話はしたが、細か
い図面までは示していな
かった。また、「条件付
き」については、郡内に
本店を置き建築工事総合
評定値600点以上で2
級建築施工管理技士の資
格を有するという条件で
入札を執行した。

■物品購入契約の締結

健康増進センターのト
レーニング機器を購入す
るもので、納期は平成31
年3月29日まで。

●契約金額…950万4
000円

●契約相手…(株) ナカ
ムラ 代表取締役 中村
充明(沼田市)

質 疑

議員 古くなったトレ
ーニング機器の廃棄と聞い
ているが、払い下げも考
える必要があるのでは。
また、郡外の業者を含め
た7社による指名競争入

札だったらしいが、4社
もあれば十分だと考える
ので郡内業者だけで入札
を行うべきだったと考え
るが。

教育課長 家庭用ではな
いのでさまざまな問題を
クリアしなければならな
いと思うが、今後の器具
更新時の参考にさせてい
ただく。指名業者につい
ても今後の参考にさせて
いただく。

町長 教育課長同様に考
えている。

平成30年第5回
臨時会(11月27日)

■工事請負契約の変更締結

東吾妻町役場庁舎の増
改築工事で、契約金額を
変更するもの。

●変更後の契約金額…9
億5422万3200円

●契約相手…南波建設
(株) 代表取締役 南波

久美子(東吾妻町)

質 疑

議員 以前、改修費用と
しておおよそ9億円とい
うことで賛成したが、こ
のたびその改修費用がそ
の額を超えるということ
についてどう考えるか。

町長 建物自体が20年経
過し今後も補修などが必
要になる。また議場にス
クリーンを設置すること
も必要なことだと理解し
ている。

議員 町民にどう説明し
ていけばいいのか。

町長 やむを得ない変更
であると理解していただ
きたい。

議員 請負業者から金額
を提示されたのはいつ。

総務課長 今月(平成30
年11月)である。

議員 増額理由の築20年
経っていて地盤等が弱い
のは最初からわかってい
たことで、金額の妥当性
はどう検証したのか。

総務課長 工事の進捗に

あわせ変更の協議を重ね
てきて、最終的に今回の
金額になった。

議員 競争入札でやって
いるのだから専門の業者
が見積もって安い金額で
とった訳である。その金
額でやる約束をしたのだ
から、変更があるのは競
争入札の制度がなり立た
ない。約束した金額以上
は出せないというような
タフな交渉をしていない
のでは。

総務課長 増額工事の部
分はその都度県の技術セ
ンターに検証してもらい、
必要なものを積み重ねて
きた。

議員 増額分5242万
円の財源は。

総務課長 主に合併特例
債を投入し、足りないこ
ろは庁舎の積立金から
充てる。

議員 合併特例債の枠は
3800万円だったと思
うが。

総務課長 繰越明許費で
財源等10億円で繰り越し

たので、範囲内である。
議員 議場でプロジェクトエクターを使うにはスクリーンも設置が必要というところで、本体工事と同じ業者に一括発注したということが。

総務課長 スクリーンは本体工事の壁部分に入るので本体工事の契約になり、プロジェクトエクターもセットである。
議員 防火シャッターに関してだが現状のではた

議会だよりの表紙

写真を募集しています!!

「議会だより」の表紙に掲載する「町の風景」や「行事」などの写真（できたら縦に撮ったもの）を募集しています。また、写真の説明も同封してください。掲載の決定に関してや掲載時期などは、議会広報対策特別委員会に一任させていただきます。

なお、人物が特定される写真は、その方の了解を得てから応募してください。



表紙に使った写真

めだということか。

総務課長 消防署から変更したほうがいいという指摘を受けた。

議員 2階の多目的トイレは車椅子利用の人でも片引きドアで通れるのか。
総務課長 大丈夫だと考えている。

議員 追加工事資料の金額部分が消されているが、議員に公表してはいけなものなのか。

総務課長 今までも単価については公表していなかった。

議員 基礎工事の追加というのは何か、L型擁壁工事か。

総務課長 入口部分を掘削したら水が出て地盤がもろくなっているのでもし型擁壁を組んだ。

議員 敷地内伐採工事とは。

総務課長 新庁舎左側上部の少し高いところを駐車場に予定しているのだが、その木を伐採する。
議員 全体の基礎にかか

る部分は5242万円の何%くらいなのか。

総務課長 2%程度。

議員 敷地内伐採工事や高圧幹線弱電引き込み工事などは最初から入っていた内容では。

総務課長 工事を進めていくうちに必要に迫られて追加した。

議員 約5000万円の中で一番割合が大きいのは何の工事か。

総務課長 家具工事が一番大きく15%で、それ以外の単品はそれほど大きくない。

議員 地盤工事は終わっているのか。

総務課長 終了している。

議員 本来は議会が認めたら後、そういう工事をやるべきではないか。

総務課長 いろいろな工事があるので、最終的に今回議案を提出させていただいた。

■物品購入契約の締結

町国保診療所のデジタルX線画像読取装置・診

断用X線装置を購入するもの。

●契約金額：912万6000円

●契約相手：栗原レントゲン(株) 代表取締役 中易 満(前橋市)

質疑

議員 デジタルX線の入れ替えということだが、現在の部屋のリフォーム的なものはするのか。

町民課長 機器の入れ替えのみである。

議員 参考までに、前の機器はどのくらい使っていたのか。

町民課長 13年使用している。

議員 耐用年数は同じくらいと理解すればいいか。

町民課長 機械もので8年くらいと聞いている。

議員 診療所の患者数が少ないようだが、こういった高額な機械を入れるにあたり経営もより確実にできるよう指導してほしい。

町民課長 そのように努めてまいりたい。
議員 年間のX線撮影数はどのくらいか。

町民課長 年間患者数の3・4割は必要な時に撮っている。

■工事請負契約の変更締結

(仮称)原町保育所新築工事(建築工事)で、契約金額を変更するもの。

●変更後の契約金額：3億6379万8000円

●契約相手：池原工業(株) 代表取締役 池原純(東吾妻町)

質疑

議員 手すりに手が挟まると困るという趣旨で変更するのだと思うが、設計の段階でそういう話は出なかったのか。

教育課長 建築が始まって協議を重ねていくうちに、手や指が挟まる形状のものや溶接箇所が多くて施工精度が要求されるものより、落下防止にも

つながるものに変更したほうがいいということに変更した。

その他決まったこと

■工事請負契約の締結

大字本宿と須賀尾を分断している温川にかかる鳩の湯橋の橋梁補修工事。

●契約金額：7452万円

●契約相手：池原工業(株) 代表取締役 池原純(東吾妻町)

■工事請負契約の変更締結

(仮称)原町保育所新築工事(機械設備工事)で、契約金額を変更するもの。

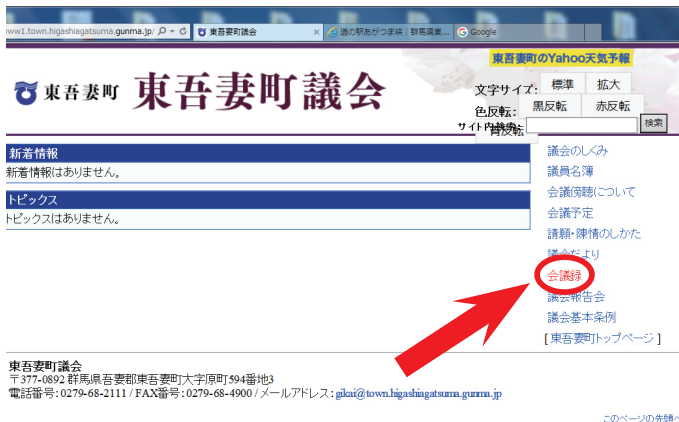
●変更後の契約金額：7526万5200円

●契約相手：富沢設備(株) 代表取締役 富澤通之(東吾妻町)

議事録(会議録)をホームページに掲載しています

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。

また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の会議録は、閲覧できるよう議事事務局に備えています。



請願陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

- ・受付締切日
定例会前に開かれる議会運営委員会の前日(土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで)
- ・提出先：議事事務局
- ・必要記載事項

請願(陳情)の表題、請願(陳情)の趣旨、理由、提出年月日、請願(陳情)者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

なお、請願の場合は、紹介議員の署名(または記名押印)

あて先(東吾妻町議会議長)

・その他：邦文で記載してください。

皆さんからの請願・陳情

請願	継続審査	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願書（内容：国において十分な財政措置を講じるよう意見書の提出を要望するもの）	群馬県自治体一般労働組合 執行委員長 宮内政己 紹介議員 金澤 敏	総務建設常任委員会
陳情	趣旨採択	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書（内容：議会から国へ臓器移植の環境整備を求める意見書を提出することを要望するもの）	移植ツーリズムを考える会 群馬県担当 金井愛華	文教厚生常任委員会

あの請願・陳情はどうなったか？

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。

内 容	処 理 状 況	
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年 6 月採択	処理中
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号(程岩)線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
請願書 公衆用道路の拡幅改良について(大戸下宿区長)	平成23年 6 月採択	処理中
陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年 6 月採択	処理中
「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(農林水産省)」事業等導入促進に関する請願書	平成25年 3 月採択	処理中
地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年 9 月採択	処理中
陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書(坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年 3 月採択	処理中
陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年 6 月採択	未決
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年 9 月採択	未決
萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	処理中
十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年 3 月採択	未決
町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年 3 月採択	処理中
橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（漆貝戸区長）	平成27年 9 月採択	未決
東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年 9 月採択	未決
安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	未決
町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書（在下・上野区長）	平成27年12月採択	処理中
上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	未決
町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年 3 月採択	未決
町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年 9 月採択	未決
東吾妻町健康増進センター「であいの館」移設に関する陳情書	平成29年 6 月採択	処理中
町道5247号線ほかの改良の請願（古谷区長）	平成30年 6 月採択	処理中

未決…どのような方法で行うか決定されていない

処理中…着手し進行中

7 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（3月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q

地域おこしや山村集落の機能維持をどう図るか

A

現行の補助金制度などを利用して着実に実行

Q

地域おこしの団体は、活動のためにモーターボート競走施行者協議会などの団体から補助を得たりして、町に負担をかけずに事業を行おうと努力している。行政としてどう協力していくか。

Q

山村集落における除雪や除草などは地域の人の自助努力に頼っている。行政区としての集落の維持も困難になってきている。専門の部署を立ち上げ地域おこしや集落の機能維持に取り組んでいく考えはあるか。

A

他団体から寄せられる補助事業や援助の仕組みをいかに活かしていくかは、町の活性化に大いに関わってくる。仕組みや動きを的確につかんで、町政や地域おこしに活かしていくことが優秀な行政マンだ。情報を的確につかんでお知らせしていく。町の地域振興補助などと組み合わせ利用していただきたい。

A

専門部署設置の考えはない。現行の「美化事業補助金」など道普通請型事業などを継続していただきたい。

Q

消防団の構成や課題、防災に関する町長の考えは。

A

消防団員は314名すべて男性である。20から40代が中心で、約8割がサラリーマンであ

る。所属する企業からご理解とご協力をいただいている。火防巡視や消防活動について広域消防本部と協力して取り組んでいる。住民の身体、生命財産を守るため、いっそうの訓練と努力をしていくよう体制を支援していく。

地域医療と救急医療の現状

Q

救急車による患者搬送時間は平均59分余りで最長236分ということだ。受け入れ医療機関として原町赤十字病院の体制充実が望まれる。

A

金銭的な助成をしたとしても医師確保には多くの障害がある。慢性的な医師・看護師不足は憂慮すべき事態であり、解決策を見いだすべく原町赤十字病院の意向を踏まえ前向きに対処していきたい。



消防団出初式のラッパ吹奏



根津光儀 議員



小林 光一 議員

Q 我が町の人口減少問題について

A 第2次総合計画を基に進める

Q 東吾妻町が暮らしやすく、将来も発展を続け自立した持続可能な町であるためには、いくつかの緊急並びに最重要課題に取り組まなくてはならない。我が町の緊急かつ最重要課題は人口減少と財政健全化と考えるが。

A 地域の個性や資源を最大限に活用する必要がある、また町の課題

を住民と行政の協働によって解決する仕組みづくりの構築が必要。さらに、社会経済の情勢に即した主体的な政策展開を可能にする行政経営能力の向上を進めることも必要である。そのために第2次総合計画を推進していく。

Q 人口減少対策の有効な一つとして、小学校の空き教室を利用し、杉

並区とも連携して不登校や引きこもりの子供を受け入れるフリースクールが考えられるが。

A フリースクールや郷土愛を育てることも重要と思われるので研究していきたい。

Q これまでの箱物などのハード面中心の行政を見直し、必要最小限にとどめ、もっとソフト面を中心とした教育に重点的にお金をかけるべきだと思う。出産から就学前の育児にかかるさらなる補助や、若年女性が働きながら子育てできる環境の整備に取り組む必要があると思うが。

A 新聞報道では、当町の子育て支援は県内

で上から3番目であり、これまでも取り組んできている。今後でもできるものがあれば、支援していきたい。

Q 子育て支援としてあづま児童クラブの預かり時間延長の要望書が提出されているが。

A 人材の安定的な確保ができれば実行して

いきたい。

Q 人口減少対策を進める中で、すぐにでも空き家情報の発信や空き家バンクなどの実施をすべきではないか。

A 空き家バンクの来年度の運用開始を目指している。



あづま児童クラブ

Q 地域力の向上に向けた行政の役割について

A 補助金制度の利活用を推進していく

地域力とは、町民及び行政が相互に連携し、総合力を持って主体的に地域の課題を発見し解決する力と考える。防災のみならず、多様な行政分野においても、地域力という視点とその活用が期待されていることと思う。

Q 町では地域力をどのように導き出し、行政の役割として、どのような取組みを行っているのか。

A 平成21年に「地域振興事業補助金」を創設し、住民等に組織された団体の自発的な活動で地域振興に効果が期待される事業に対し補助金を交付している。制度創設以来、14団体が述べ27回

補助金の交付を受け特色を生かした取り組みがなされている。また、美化事業補助金は平成27年に創設し、本年は44団体が地域美化に取り組んでいる。

Q この10年間で14団体しか利用されていない。このような補助金制度をもっと周知していただき活用の機会を増やしていく必要があると思うが。

A 今後もこのような補助金を有効に活用し、活動いただける状況を作っていく。

Q 地域の方々による自主的防災訓練が必要だと思うが、現在ある「住民センター」の建設・増改

築及び備品の整備について」の助成金は、公民館や集会所がある行政区が対象で、他の行政区は対象外になっている。今後各行政区が防災備品の購入助成制度が受けられる使いやすいものにし、自主的に防災活動をしていただくことが必要と思うが。

A 議員おっしゃる通りで、各地区での思いを早く達成できるように努めていくことが町の姿勢だと思っている。

Q 地域に関する補助金などの活用については、町は各公民館を活用し、積極的に地域に向くなど、地域のアドバイザー的存在になる必要が

あると思うが。

A 議員おっしゃる通りで、そのような役割が必要だと思っている。

各館長は行政のベテランを配置しているのでそのようにしていきたいと思う。



竹 渕 博 行 議 員



監査委員による防災備品の現地調査（東公民館岡崎分館）



高橋 徳樹 議員

Q 岩島橋の老朽化について

A 県の代行工事による早期の掛け替えで対応したい

Q 岩島橋は昭和34年10月に竣工されたもので、59年が経過し老朽化が進んでいる。周辺住民にとって生活に欠かせない橋であり、安全面で問題はないか。また、県の掛け替え代行工事計画案があると聞くが。

A 平成22年度に橋梁点検を行った結果、上部構造に軽微な損傷や劣化などが見られたが、普通車の通行には支障がないとのことだ。平成26・27年度に上信自動車道吾妻西バイパスの上を超えるためのボックスカルバートの位置を決めるため、橋梁予備設計業務委託を発注。改良計画の概

算工事費は合計15億円以上と算出されたことに加えて、橋梁工事の特殊性も鑑み、県に代行工事を要望した経過がある。しかし、県の代行工事は県内で3工事とされ、継続工事が2021年以降

59年が経過し老朽化が進む
岩島橋



に順次終了する計画で次期代行工事の採択をお願いしたい。また、他の代行手法があるか調査中で、関連工事負担軽減を念頭に早期の掛け替えで対応していきたい。

Q ふるさと納税の推進について

A 返礼品だけに頼らない 寄附の募り方を検討

Q ふるさと納税制度が始まり10年になる。これまでの取組み、実績、また課題を伺いたい。

A これまでの総件数は557件、総寄附額は2431万7000円である。課題は、本町を知らない方へのPR方法と返礼品を提供していただける協力者が多くないことだが、今後、町内事業者の協力を得ながら、さらに多くの選択肢を提

供できるようにしていきたい。

たい。

Q 自主財源の確保は重要である。新しいプログラムを構築し、推進すべきと思うが。

A ふるさと応援寄附の使い道を具体的に計画し、共感していただく方から寄附を募るクラウドファンディングや地方創生に係る事業に寄附していただく企業版ふるさと納税等返礼品だけに頼らない寄附の募り方も考えていきたい。

Q 汚水処理人口普及率を向上させるには

A 広報やホームページを活用して汚水処理施設への接続、転換を啓発していきたい

Q 県では3月に群馬県汚水処理計画が発表され、この計画に沿って町は汚水処理施設の整備を進めていくものと考えられる。具体的な計画案を作成し事業に取り組むべきではないか。

A 町では平成28年度に下水道事業経営戦略を策定した。その中に汚水処理施設の修繕や更新時期を盛り込んだ維持管理計画がある。この経営戦略に基づいて適正かつ迅速に汚水処理施設整備事業を展開している。

Q 平成28年度末の群馬県市町村別汚水処理人口普及率は、県下35市町村で23番目である。この現状についてどう捉えているか。

A 町の現状として高齢化の進行もあり、くみ取りや単独浄化槽から汚水処理施設への切り替えがなかなか進まない。今後も汚水処理人口普及率計画の目標値を目指し

て事業を行っていききたい。
Q 汚水処理人口普及率を向上させるための具体的な施策は何か。

A 広報やチラシの配布、ホームページを活用して汚水処理施設への接続、転換を啓発していきたい。

Q 町営水道以外の井戸水等を含んだ場合の料金について、メーターを取り付けて計量し実数値を求め、料金に反映することはできないか。

A メーターのない利用者の認定基準は1人8立方メートルである。個人設置となるがメーターによる算定は可能である。

Q 農業集落排水事業における汚泥肥料の提供については、放射能汚染の影響で中止しているが再開してもよいと思うが。



汚水処理の普及につながる合併浄化槽の設置

せているが、安定して低い値が出ている。今後、配布再開も視野に入れ検討していきたい。

Q 現在、浄化槽排水設備設置工事費補助金は、工事費用の2分の1

で上限が15万円となっているが20万円に見直すべきでないか。

A 住宅改修補助金との兼ね合いもあるので、関係課とも調整し検討したい。



須崎幸一 議員

Q 祖父母手帳の作成を

A 子育てガイドブックを充実させながら研究していく



青柳はるみ議員

Q 変化を続ける育児の常識について孫育てを手伝いたいのが、躊躇してしまつとの声がある。

地域の子育て支援のため祖父母手帳の作成を。

A 妊娠届け時に配布している子育てガイドブックを充実しながら、先進事例を調査研究していく。

森林環境税導入に向けた町の取り組みは

Q 平成30年度税制改正で森林環境税が町に交付金として2019年から入り、2024年からは復興税が充てられる。町としての活用はどうか。

A 平成31年度町への交付額は1191万3000円。使途は人材育成、担い手の確保、木材利用の促進、森林整備の支援に充てる。木材製品等の流通経費、特に運賃に対する補助などが地元林業企業に対し行な

いか、調査・検討を進めている。本年5月に森林経営管理法が成立し、森林管理システムが平成31年より森林所有者から町が経営管理の委託を受け、林業経営者に再委託を行う森林管理システムがスタートする。森林所有者リスト、所有者の意向調査、森林簿のデータ更新の費用にも充てていきたい。自伐型林業への講習会は森林所有者、森林組合と協議していく。

住民が取り組む防災、PI(G机上)講習会を

Q 本年五町田地区でDIG体験講習会が行われた。これは土砂災害

からの避難を考え、その土地に伝わる昔からの災害、それをどう回避してきたかを知る住民懇談会だ。自主避難計画の冊子の表紙写真は近所の知った顔が載っていることが災害をわが事と実感する。県からは指導者の派遣も

ある。総合計画にある住民主導の取り組みとして取り入れるべきと思うが町長の認識を伺う。

A 関係機関や地域の方と連携協力をして住民による防災への取り組みを支援していく。



五町田地区の防災を考える住民懇談会において、災害への備えとして検討され作成された冊子。



町内企業の人手不足の現状と対策は



特に建設業と製造業で顕著である。「企業説明会」などで町内企業と連携

Q

企業の人手不足」と回答する調

い」と回答している。

「後継者が決まっていな

その内60%の事業主が

当町の現状はどうか。

野なども含め全国的に深刻な後継者不足にある。

時代への足音。中小後継未定127万社」の衝撃的な見出しが掲載された。

Q

昨年10月6日の日本経済新聞に「大廃業



重野能之議員

と有効な対策は。

業の求人募集状況におい

有効な施策については、

町内企業と連携した「企業説明会」などは有意義なものと思う。

Q

4月から外国人労働者受け入れ拡大を目指した法改正を行った。最初の5年間だけで34万人だ。

これは子や孫達の将来世代の社会のあり方に大きな変化をもたらすものだ。

受け入れる側の日本国民の生活を守り、また日本

にやってくる外国人の安心できる生活環境作りが大事だ。当町の課題として考えられることは何か。

A

当町における外国人登録人口は263人

受けてのルール作りはこれからだが、雇い入れた

もあると考える。町としては事業者と連携し対応していく考えだ。

TPPについて

Q

12月30日

に発効を迎える。グローバル化は、他方で外国産品の輸入が増え、

また国際情勢の影響を受け不安定化する懸念もある。

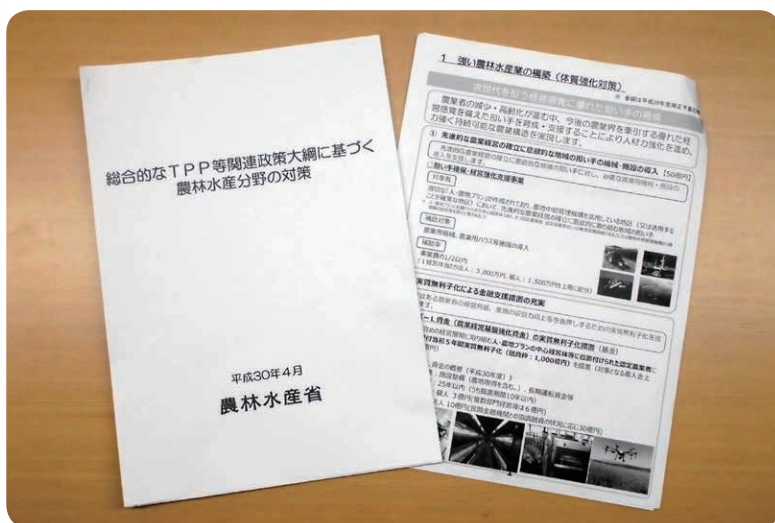
当町の農林産業への影響を

どう考えるか。

A

平成28年データでは町の農業算出額91億

1000万円のうち、畜産分野が70億3000万円とあり、何らかの影響があるのではと懸念している。



日本の食と農業を守るか!? いま政治が問われている(写真は政府の定めたTPP関連についての対策要綱)。

議 案 な の 審 議 結 果

第 4 回 臨時会（平成30年10月5日）

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 浦野 政衛	2 高橋 徳樹	3 里見 武男	4 小林 光一	5 重野 能之	6 竹淵 博行	7 佐藤 聡一	8 根津 光儀	9 樹下 啓示	10 山田 信行	11 茂木 恒二	12 金澤 敏	13 青柳 はるみ	14 須崎 幸一	議決日
訴訟の和解		13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	10/5
工事請負契約の締結（町民体育館改修工事）		13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	10/5
物品購入契約の締結（健康増進センタートレーニング機器購入事業）		13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	10/5
平成30年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）		13	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	10/5

第 5 回 臨時会（平成30年11月27日）

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 浦野 政衛	2 高橋 徳樹	3 里見 武男	4 小林 光一	5 重野 能之	6 竹淵 博行	7 佐藤 聡一	8 根津 光儀	9 樹下 啓示	10 山田 信行	11 茂木 恒二	12 金澤 敏	13 青柳 はるみ	14 須崎 幸一	議決日
工事請負契約の変更締結（東吾妻町役場庁舎増改築工事）		14	8	5	可	-	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	11/27
物品購入契約の締結（デジタルX線画像読取装置・診断用X線装置購入）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27
工事請負契約の締結（鳩の湯橋橋梁補修工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27
工事請負契約の変更締結（（仮称）原町保育所新築工事 建築工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27
工事請負契約の変更締結（（仮称）原町保育所新築工事 機械設備工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/27

第 4 回 定例会（平成30年12月4日～13日）

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 浦野 政衛	2 高橋 徳樹	3 里見 武男	4 小林 光一	5 重野 能之	6 竹淵 博行	7 佐藤 聡一	8 根津 光儀	9 樹下 啓示	10 山田 信行	11 茂木 恒二	12 金澤 敏	13 青柳 はるみ	14 須崎 幸一	議決日
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		14	8	5	可	-	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	12/12
東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		14	8	5	可	-	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	12/12
東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町課設置条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	12/12
東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町交流促進センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町都市公園条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	12/12
東吾妻町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
東吾妻町体育施設使用料条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
平成30年度東吾妻町一般会計補正予算（第5号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
平成30年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
平成30年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
平成30年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書採択に対し ※委員会の趣旨		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 ※議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

一緒に考えましょう!!

・ご提言を議会がうかがう

東吾妻町議会では、昨年の11月5日（あづま農村環境改善センター）・6日（太田公民館）・7日（中央公民館）・8日（岩島公民館）・9日（坂上公民館）の5日間、議会報告会を開催しました。

議会報告会は、町民にわかりやすく開かれた議会の実現を目指して、議会活動や仕組みなどについて理解していただくことを目的に行っています。平成30年度は5会場に77人の方が参加されました。

なお、結果（記録）については、準備ができしだい議会ホームページで公開するほか、質問に対する回答などは各公民館と議会事務局に備え付ける予定です。

行財政関係

【質疑応答】

問 自転車型トロツコの試験運行の予算規模と収支予想は。

答 予算は1億4千万円くらいの予定で、収支はとんとんでいけると予想しています。

問 29年度の財政力指数は0・402らしいが、どのくらいになれば安心なのか、県内で悪いほうから何番目くらいなのか。実質公債費比率は11・6らしいがどのくらいになれば安心なのか。

答 将来負担比率が今55・2まで下がってきています。県順位ではワー

スト5です。実質公債費比率の早期健全化基準は25・0なので、平成21年度の18・5に比べればよくなっています。県ではワースト1です。

問 地方債の借金が150億円もあるのに貯金（基金）も49億円している。金利で考えると貯金より借金で払うほうが多いのではないかと。

答 借金の利息は平均1%くらいだと思っています。基金は目的をもって積み立てているので目的以外には使用できないという縛りがあります。

問 目安箱のようなものを設置すれば、誰でも町

のことを考えるようになると思うが。

答 現在はありませんが、新庁舎の町民ホールや公民館などにあればいいと思うので、執行部に伝えたいと思います。なお、町のホームページの中に「町長室」というのがあり、そこに書き込むと町長が直接見るという仕組みがあります。

問 現在5日と20日に町からの配布物が配られているが、以前は区長が自分で分けて班長に配っていた。現状はどうなっているのか。

答 9月からは町職員が勤務時間内に仕分けを行

い、各区、班ごとに分けたものを区長にお届けしています。

【意見・要望】

◎現在の東支所を郷土資料館にすることを検討いただきたい。

◎借金を1年に1億や2億円減らす努力では情けない。20年後に生きている人たちに余り迷惑をかけないような行政をしてもらいたいので、そういう視点で町行政をチェックしてほしい。

役場庁舎関係

【質疑応答】

問 新庁舎に教育課が移転し改善センターに東支所を移すと、今の東支所は何に利用するのか。

答 東支所や教育課が入っている建物をどのように利用するかについては、まだ答えはないと聞いています。

問 新庁舎へ上る坂が急なので、年寄りが楽に上れるような何か工夫が必要だと思ふが。

明日を・10年後を

ご意見

答 真ん中部分の坂の脇に階段をつくるという説明を受けています。

問 現在の役場庁舎跡地はどうなるのか、プランがあるなら教えていただきたい。

答 町長は取り壊して広場をつくりたいと言っているが、具体的には決まっていないようです。

問 新庁舎をつくるにあたり屋根から始めているような工事をしているようだが、議会はそれをどこまですべきか議論したのか。

答 診断の結果、築20年経過しており雨漏りすると追加工事になるということなので、屋根瓦も改修工事をしたほうがいいと議会も承認しました。

教育関係

【質疑応答】

問 岩井、植栗地区の一部ではスクールバスが利用できないが、検討してくれたのか。

答 教育委員会には考慮を願っていますが、まだまとまっています。もう一度、議会として申し入れたいと思います。

問 給食費無料の取り組みは感謝している。町外の中学校に通う生徒に対

して助成されているか。

答 議会としても不公平さが生じていることを取り上げ、執行部に対し伝えていきます。町外の学校に通っているお子さんへの給食費の補助はしますが、給食がない学校の不平等については支給がされていません。不公平さをなくすために執行部に願っています。

問 スクールバスに1人とか2人しか乗っていないのを見る。また、免許返上している人も多いらしいので混乗を実現していただきたいが。

答 道路運送法の問題であるとか、一般人と児童・生徒と一緒に乗せるのは不安だという保護者からの意見もあるようです。また、国からの補助金も2年ほどで打ち切られる可能性があるもので、いろいろと研究を進めているところです。

【意見・要望】

◎健康増進センターの利

用は、町民に年間パスポートを出すなど、町外に差をつけるべき。

少子化問題・子育て関係

【質疑応答】

問 少子化・子育て・教育・福祉の問題がどういう動き方をしているのか、他の町村に比べて東吾妻町は遅れているのか進んでいるのか教えてほしい。

答 例えば保育所を新しくしたり育英資金の貸与を始めた、また小・中学校への入学者に対し祝い金や準備金を補助するなどしています。また、子どもの遊び場として原町の2号街区公園に遊具を増やしてもらいました。子育てにこにこひろばには1日40人の利用者があります。

【意見・要望】

◎箱島の児童公園2カ所のうち1つは地元でつくったものであるが、老朽化したので町に整備をお願いしたい。

高齢化問題関係

【質疑応答】

問 70歳以上の老人世帯にボタン式の装置を付け、無事かどうかの確認ができるようにしてほしいが。

答 ひとり暮らしの老人や障害者などの安否確認などを行うための安否救急通報サービスを提供しています。

【意見・要望】

◎坂上地区だけでNPO法人さかうえの買い物支援バスを利用している人が22名いる。ペットの避妊に対する補助金はあるのに、買い物に行けないお年寄りへのサポートがない。できるだけ早く行政による支援をお願いしたい。

空き家対策関係

【質疑応答】

問 空き家対策はどのように進捗しているか教えてください。

答 空き家を調査したら1000軒近くあったよ

うです。それをどうするかが今後の問題で、5年以内に手をつけなければ老朽化してしまうという結果が出ました。

問 空き家を提供して移住を進めるためにはトイレの水洗化が必須であり、補助政策が必要と考えるがどうなっているか。

答 新築修繕等補助金という上限が30万円、総工費の10%の補助が出るという制度もあります。

【意見・要望】

◎空き家対策は解決に向けてもっとスピードアップしないといけない。

防災関係

【質疑応答】

問 箱島では古い公民館が避難所になっているが、耐震性はどうなのか。また、立地的に土砂崩れなどがあつた場合に危険なのではないか。

答 5分館のうち箱島だけ新しくしていないので、耐震性にはちよつと

心配なところがあると思います。

【意見・要望】

◎避難所が公民館に設置された場合、公民館の役員をしている我々の役割さえわからないので、住民説明会くらいは開くべきだと思う。

◎東吾妻町だけではなく群馬県人の場合は防災意識が低いので、個人個人の意識を高めるのが一番大事だと思う。

◎防災無線を流す時に同時にメール配信をしていただけるとありがたい。

上信自動車道・交通関係

【質疑応答】

問 上信道の吾妻西バイパスの松谷・厚田間は土地収用法を適用する手続きを実施するのか。

答 遅れているが、これからやるようです。

【意見・要望】

◎上信道のインターチェンジに、観光名所や産業を案内する看板のようなものを設置していただき

明日を・10年後を一緒に考えましょう!!

議会では、町民の皆さんにわかりやすく、開かれた議会の実現を目指し、下記の日程で「議会報告会」を開催します。当日は、議会の活動状況などを知っていただくともに、皆さんから直接ご意見やご提言をうかがいます。

東吾妻町が直面している人口減少や少子高齢化、子育て支援、農林商工業の振興、防災対策、地域医療、地方創生、行財政改革、公共交通などの多くの問題について、ご意見やご提言をお聞かせください。

皆さんの生の声を町政に反映できるよう、議会として精一杯努めてまいりますので、お問い合わせのうえ、ぜひご参加くださるようお願い申し上げます。

開催日程

◎あづま農村環境改善センター	11月 5日(月)	午後7時～
◎太田公民館 大会議室	11月 6日(火)	午後7時～
◎中央公民館 相談室	11月 7日(水)	午後7時～
◎岩島公民館 大会議室	11月 8日(木)	午後7時～
◎坂上公民館 大会議室	11月 9日(金)	午後7時～

※いずれの会場でも参加できます。都合の良い日にお出かけ下さい。

= 東吾妻町議会 =

東吾妻町議会事務局 ☎68-2111・内線311

たい。

◎吾妻川に架かる歩行者用の橋、昭和橋を長持ちさせるために整備して欲しい。

除雪対策関係

【意見・要望】

◎除雪対策について、比較的主要な道路は町で、それ以外は地域で除雪するとか区分けをしてもらいたい。

人口減少問題関係

【質疑応答】

問 人口減少が進み当町の人口が1万人を切るのは何年後か。

答 町の計画では、2040年に1万人の人口を確保する政策を進めています。ここ5年間の平均をとると1年間に342人くらい減少しているの、この計算でいくと2029年には1万人を切るということになってしまいます。

【意見・要望】

◎若い人たちに定着してもらえよう美しい町を作って欲しい。

観光振興関係

【質疑応答】

問 大柏木の入口あたり

に、国道406号の奥の観光案内板を設置してほしいが。

答 大柏木トンネルが開通すると、交通量も国道406号よりそちら側のほうが多くなる可能性が大きいので、観光客を分散させることを考えていきたいと思います。

【意見・要望】

◎岩櫃城跡は木とか何もなければ景色がよく、雨が降った朝早くには雲海的なものが見えるので、そういうものも売り物にできる気がする。

地方創生関係

【質疑応答】

問 10年後を一緒に考えましょうというタイトルの議会報告会だが、子供の地域離れということに関してどんなビジョンを持ち、今動きをとっているか。

答 まず空き家、公共バスとスクールバスなどの現実の問題があります。町として第2次総合

計画を立て取り組んでいます。ビジョンは36アクションプランをたて進めているが結果はまだ出ていません。

【意見・要望】

◎ふるさと納税が中之条に比べ少なくながっかりしている。真田丸で第1番目に画面に出てくるころなのに発信力が足りなくもつたいない。イメージアップしてふるさと納税につなげてもらいたい。全職員挙げて誇りをもって暮らせるために頑張ってほしい。

産業振興関係

【質疑応答】

問 町有地の利用を産業振興につなげることを考えていないのか。

答 箱島の農村公園用地は残土置き場として有償で貸していますが、その後の利用としては企業が手を挙げてくれないのが現状のようです。

農林業関係

【意見・要望】

◎農地・水の維持活動、長寿命化の取り組みで交付金をもらって農地維持に取り組んでいるが、1年単位で減額される。年度初めに金額を示し、前年実績は与えるようにしてもらいたい。

議会関係

【質疑応答】

問 議会基本条例に公聴会が入っていないのは不見識だ。具体的に入れてもらいたい。

答 議会報告会で各地に出向いてご意見を聞いています。また、議会規則で公聴会は開け、委員会条例にも公聴会の規定があるので配慮しながら取り組んでいきます。

【意見・要望】

◎過去の議会報告会に参加した町民から出た意見や要望などの中で、実際に実施されたものがあるなら次回の議会報告会で報告してほしい。

◎議会報告会への参加者が議員の数より少ないの

は寂しい。

その他

【質疑応答】

問 坂上公民館の西側にヘリポートがあるが、草が生えていておりられないことがあった。アスファルト整備をし、おられるようにしていただきたい。

答 実現に向け、執行部につなげていただきま

【意見・要望】

◎地域振興センター内部の備品や駐車場を整備して使いやすいものにしてほしい。

◎旧岩島保育所を壊すなり利用するなり何らかの方策を考えてほしい。

・ ・ ・ ・ ・

紙面の都合により、すべての質問や意見などを掲載することはできませんでした。



しい町づくりへの提案～

学生議会及び懇談会を開催

昨年11月30日、東吾妻中学生議会及び懇談会「第2回東吾妻JHS議会」で新しい町づくりへの提案が、旧東吾妻町役場3階の議会議場で開かれました。6名の中学生議員からの一般質問に対し中澤恒喜町長らが答弁を行ったほか、閉会後は傍聴として参加した生徒も交え、懇談会が行われました。

町政一般質問（要旨）

現在の東吾妻町の太陽光発電の状況を教えてください

2番 野山 依央議員

Q 自然エネルギーの活用が進められている中、各地で太陽光発電が盛んになっているが、町でもたくさんの場所に太陽光パネルが設置されている。町として太陽光発電所の設立、パネル設置の計画はあるか。また、個人による太陽光パネルの設置に対して援助する制度などを含め、太陽光発電に対する町の考えや計画を教えてください。

A 太陽光発電は自然工

ネルギー、再生可能エネルギー、クリーンエネルギーなので、その活用は重要だと考えているが、町として太陽光発電所の建設やパネルの設置計画はない。町としては太陽光発電所の建設やパネルの設置を計画するのではなく、個人の方々などが設置するものに対して指導をしている。

個人への援助は住宅の屋根などに太陽光発電を設置した場合は対象となり、最高20万円までの補助をしている。太陽光発電に対する町の考え方は、国のガイドラインをもとに太陽光発電設備の設置に関する配慮事項を策

定した。また、地域での関係構築という観点から太陽光発電施設の設置が地域でのトラブルのもとにならないよう、地域の方々に配慮するといったことも盛り込み、今後も適切な発電事業を行っていただけるよう促していく。

地域における高齢者と子どもとの交流についてうかがいたい

3番 岡崎 真央議員

Q 少子高齢化や核家族化が進み、地域での交流が減ってきている。そこで、高齢者に伝統的な遊びや毎日の学習を教えてもらったり、子供会と高齢者で地域の花づくりを行ったり、小さなイベントを計画的に設けるのはどうか。また、その場所として空き家や公民館を活用し、誰もが集まれる憩いの場所をつくる必要があるかと思うが。

A 少子高齢化は国全体

の問題であるが、特にこの吾妻地域では喫緊の課題であり、各町村が知恵を絞って取り組んでいる。高齢者と子供たちとの交流は、高齢者の経験や特技、趣味を貴重な財産として捉え、次の世代へ伝えていくための機会を設けることになると思う。また、地域に伝わる民話や芸能などを子供たちに伝承することは、地域全体で郷土愛を育むことにもつながる。

町には公民館と小学校が東、太田、原町、岩島、坂上の5地区にあり、公民館で実施している教室、講座の内容を工夫し、物づくりや郷土の探検、小学校では総合的な学習の時間を利用した交流活動などを実施している例がある。

また、高齢者の認知症予防として、おやつなどをつくって未就学児と一緒に食べたり、ゲームなどに取り組んでいる地区

第2回 東吾妻JHS議会

ジュニアハイスクール

～新

東吾妻中



もある。こうした活動は、視点を変えれば高齢者の居場所づくりにも寄与することにつながる。仕事をリタイアされた方々へ異世代間交流の場が提供され、高齢者の健康、活

力が向上し、地域社会への関心が高まることになる。

質問の件については、今後も参考にさせていただき、世代を超えたかわりが持たれ、安心感や生きがいのある東吾妻町になるよう努力を続けていく。

A 本町での高齢者と子供の交流は、登下校時のボランティア、昔から伝わる遊びなどを学校で教えてもらうこと、岩島地区の麻引きの体験などがある。そういったことで、地域の方々と子供たちが交流しており、指導したり支援してくださっている方々も、それを今の自分の生きがいの中の一つとしておられるようだ。

東吾妻町の観光振興についてうかがいたい

4番 富澤淳也議員

Q NHKで真田丸が放送された年は観光客が急激に増加したと聞く。観

光客を招くためどのようなイベントがあるか、それぞれにどれくらいの観光客が訪れているのか。各地域の美しい自然、特に紅葉を生かした祭りなどのイベントを町全体で連携して行うことで、町の活性化につながるようになると思うが。

A 本町における主要な観光地や観光行事の観光入り込み客数は近年40万人前後で推移していたが、真田丸の放映、道の駅あがつま狭のオープンなどの効果により、平成27年には約68万人に達した。平成28年は約73万人、平成29年は約63万人となっている。特に岩櫃城跡や岩櫃山は、放映に伴い一時急激に増加したが、放送終了後は減少傾向にある。しかし、真田氏ゆかりの三城、岩櫃城、沼田城、名胡桃城が続日本100名城へ選定され、続日本100名城のスタン

プラリーがスタートした

ことにより、多くの観光客に来ていただいている。イベントとしては、いせん祭り、ひがしあがつま夏まつり、岩櫃城忍びの乱、THE岩櫃城忍び登山、東吾妻むかし道MTBライド、土偶Fes、紅葉祭などを開催している。このようなイベントの参加者は年間約3万人で、町民以外の参加者は約1万5000人と推計している。

ほかに日本ロマンチック街道や上州真田三名城連携など、県内外の関係自治体と広域的な連携を図っているが、特に城主真田三城連携事業に関するイベントでは、全国から多くの人が集まり、岩櫃城、岩櫃山が広く知られるようになった。

今後はハッ場ダムや上信自動車道の完成による人の流れも見据えた事業を進め、交流人口の拡大に努めてまいりたい。また、町内から出土し

たハート形土偶や、遮光器土偶、奈良三彩の壺、素環頭大刀など、貴重な地域資源として町の魅力づくりに生かしていきたいと考えている。

さらに、観光ボランティアスタッフなどの充実や、観光案内板やトイレ環境などの観光基盤の整備、美しい自然を生かしたイベントを観光協会を初めとする関係機関などと連携し、町の活性化につながるよう努力してまいりたい。

Q M T Bのイベントだが、マウンテンバイクに制限してしまうと、例えばロードバイクに乗っている人は参加できないので、山道を登るヒルクライムを提案するが。

A マウンテンバイクの魅力は、むかし道の山道を駆け上がったり下ったりしていたたく、シングルトラックというものが、それが町内の古道であったり森林の中であったり、

そういったところに張りめぐらされている。マウンテンバイクの大会は、そういったシングルトラックを自由に楽しんでいただく趣旨の大会である。ヒルクライムは、近隣の市町村で行われており、機会があれば町でも挑戦してみたいとは考えている。

高齢者の方々の生活しやすい町づくりの政策について教えていただきたい

5番 唐澤梨緒議員

Q 東吾妻町では、高齢化が急激に進んでいるということだが、特に山間部では商店が遠く、交通機関が限られ移動する手段が少なく、不便な生活で困っているお年寄りも少なくないと思う。そこで、高齢者の交通事故が問題になっている現在、路線バスを増便したり、希望によって送迎できるバス、タクシーなどの交通手段が考えられないか。

また、町として日常生活用品を巡回販売するようなことはできないか。

A 町内には4本の路線バスが運行しているが、これは民間事業者が運行し毎年収支不足分を町が補填をする仕組みになっている。町にとって大切な公共交通である。このバスをお年寄りを初め皆さんがより利用しやすくなるような検討を進めている。その中では、スクーラルバスと路線バスの連携を図り、効率的かつ利便性が向上するような方策を調査しているが、公共交通はお年寄りだけでなく、いつでも誰でも乗れるようにする必要があり、町の予算の調整などとともに丁寧な検討を重ね、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指していきたいと思う。

また、町では交通手段の不便な高齢者に対して、買い物弱者対策として商工会が実施をしている

買い物代行、生活支援事業を支援している。日用品の宅配サービスは、農業協同組合、生活協同組合などが行っており、一部地域ではコンビニエンスストアが、移動販売車で日用品の販売を行っている。町が移動販売車を巡回させると、こうした事業者の取り組みにおいて事業の圧迫になりかねないため、民間事業者が行っている宅配サービスや移動販売事業が継続できるような支援などを検討したいと考えている。

「道の駅あがつま峡」の施設・設備の拡充や、新しい道の駅の整備についてうかがいたい

6番 佐藤日菜姫議員

Q 渋川からの新しい道路の建設が進んでおり、八ッ場ダム completion にあわせて観光客の大幅な増加が予想される。そこで、道の駅の天狗の湯、農産物直売所、足湯などだけ

でなく、八ッ場ダムや吾妻渓谷の観光と関連した施設をふやしてはどうか。計画があったら教えていただきたい。

A 道の駅あがつま峡は、大勢の利用客でにぎわい、町の観光拠点となっており、名勝吾妻峡の玄関口に位置し、今後この立地を生かした観光振興を行っていきたくと考えている。八ッ場ダムは完成するとダムの堤体内に観光用のエレベーターが設置され、上流の長野原町と下流の東吾妻町が結ば



れるため、長野原町と連携してダムを中心とした観光振興の施策やダム下流地域において名勝吾妻峡を生かした観光振興に取り組んでいる。

初めに、ダム建設によってつけかえとなったJR吾妻線の廃線敷を利用した自転車型トロッコの運行だが、関東近県では類のない乗り物である。

次に国道145号は溪谷。パーキングからダム本体まで一般車両の通行どめを予定しており、観光客の周遊を促すためシャトルバスを運行させ八ッ場ダム直下にはバスの回転広場など基盤整備を予定している。

そのほか、マイカーの観光客の利便を図るため十二沢パーキングを整備したほか、今後溪谷内駐車場の整備を予定している。

次に、溪谷内の周遊を促す取り組みとして、猿橋の復元架橋を行った。

また、観光客を安全かつ適切に目的地に誘導するため、長野原町と連携し同じ意匠に統一をした看板の設置を予定している。あわせて、名勝吾妻峡の風致景観の価値、見どころの解説板を設置し、自然と景観を保護することも同時に行っていくたいと考えている。

そのほかミニエの設置やレンタサイクルの導入についても、長野原町と連携し検討している。

外国人の観光客や労働者の受入についてうかがいたい

7番 木暮さゆり議員

Q 外国からの観光客が全国的に増加し、オリンピックの開催にあわせてさらに多くの方が訪れることが予想される。町に外国人観光客を呼ぶための工夫や計画があれば教えてほしい。国として外国人が日本で働けるような政策が進められているが、現在町で働く外国人はどのくらいいるのか。また、外国人労働者の受け入れについての考えを聞かせてほしい。今後は訪れやすく働きやすくなるような、外国人にとって優しい環境づくり、例えば言葉や宗教による食べ物、住居の工夫などの対策が必要だと考えるが。

A 東吾妻町第2次総合計画の方針に沿って進められている町の取り組みを紹介する。

まず、PR用素材として外国語版PRチラシ、トレッキングガイドは作成済みで、郡全体の外国語版パンフレットも県郡内町村と連携し作成している。今年度は外国語版パンフレットとPR動画の作成、英語、中国語、韓国語に取り組んでいる。

次にミニエ環境の整備で、吾妻峡周辺のフリーミニエの整備を長野原町と連携し進め、道の駅あがつま峡に整備を行いたいと考えている。

今後外国人観光客誘客のため、国・県、他市町村、観光協会とも連携し、パンフレット作成やデジタルサイネージなどを活用しながら観光情報を発信していきたいと考えている。

平成30年11月20日現在、外国人登録人口は263人で、町人口のおよそ1.8%。うち在留資格としては技能実習生等の許可を得ている人が126人いる。今後も外国人労働者がふえることが予想され、言葉や宗教、食べ物や住居などのさまざまな課題が出てくると思われる。町としても日常生活が滞りなく行えるよう、町民と隔たりなく行政サービスを提供したり工

夫し、外国人が生活したり働きやすい環境を整えていかなければならないと考えている。

参加者名（順不同・敬称略）

野山 依央（3年）	岡崎 真央（3年）	富澤 淳也（3年）	唐澤 梨緒（3年）
佐藤日菜姫（3年）	木暮さゆり（3年）	浅見 光琉（3年）	中嶋 拓登（3年）
丸山 夏美（3年）	曾我 英利（3年）	永田 柊（3年）	小泉 結愛（3年）
小淵 織寧（3年）	佐藤 真耶（3年）	小池 光（3年）	田中あいり（3年）
蜂須賀友望（3年）	田島みなみ（3年）	名児耶明音（3年）	唐沢 美咲（3年）
篠原 竜貴（3年）	後藤 悠大（3年）	小林 悠真（3年）	中村 亘喜（3年）
校長 茂木 一弘	教諭 高橋 直樹	教諭 竹本 雅彦	

各委員会からの活動報告

文教厚生常任委員会

付託された「臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書」は趣旨採択となりました。

「保健福祉課」：来年度からの特別養護老人ホームいわびつ荘は引き続き春風会が指定管理する予定とのことです。

「町民課」：平成31年度末までに個人番号カードで住民票や印鑑登録証明書などをコンビニなどで



太田社会体育館・太田スポーツ広場

取得できるよう準備中のことです。

「教育課」：旧太田中学校校庭を利用している団体の移転場所は、調整会議で検討しているのとことです。また、工期が遅れている「はらまち保育所」の視察を行いました。完成度は81%であるとの報告です。なお、町外に通っている生徒のうち学校で給食が提供されていない生徒に対しての給食費補助に関する質問には、明快な回答はありませんでした。

議会運営委員会

●議会報告会について：多くの町民の方が議会報告会に興味を持っていたき、実際に会場まで足を運んでいただけるかを委員会として引き続き協議を重ねていきます。また、会場で頂戴した質問や要望については、公民館などで町民の皆さまが閲覧できるように対応す



東吾妻中学生議会(11月30日)

ることになっています。

●東吾妻中学生議会について：中学生議員6名からの一般質問や懇談会での8名からの意見や質問に対して、町長はじめ担当課長それぞれに前向きな答弁をいただきました。

●吾妻中央高校生議会について：12月20日木曜日の午後2時より吾妻中央高校生議会が行われます。

行財政改革推進 特別委員会

企画課から第2次行財政改革推進プランの骨子案の説明があり、今後の

進め方は、1月にパブリックコメントを求め、パブリックコメントが出た後に各課でつめ、3月には実施計画を提示するとのことです。委員からは、定員の適正化の点で人口減社会やI・T・A・IやICT活用を考慮した職員数にすべきとの指摘がありました。総務課長からは、平成33年から退職年齢が引き上げられることや再任用も週5日のフルタイム労働になることが示され、定員や人件費が今後の町財政に重くのしかかることが懸念されます。

骨子案では、地方債残高が臨時財政対策債を除いているのは、議会報告会などで町民に説明してきた数字と異なり町民に混乱を生じさせるとの指摘もありました。

総務課からは、外構工事の完成は31年3月、予算は1億7000万円とのことです。

各委員会からの活動報告

ハツ場ダム及び地域 開発事業対策特別委 員会

12月7日に委員会を開き、9月定例会以降の進捗状況について説明がありました。その中で国交省より、ダムの打設が90%まで進んだとの報告や、県より大柏木トンネルの工事完了が、平成31年度末からベルトコンベアー撤去などのため、平成32年度末の完成へ1年遅れるとの報告がありました。



2021年度完成予定の大
柏木トンネル

した。

また、町よりJR廃線敷きや国道145号廃道区間の本年度分の事業の進捗状況、自転車型トロッコ（レールマウンテンバイク）試験運行、シャトルバスの運行状況や、観光など情報施設の整備計画の説明がありました。また上信自動車道の進捗状況の報告があり、本年度工事費46億円、補正予算8億円、計54億円が本年度予算であることや、各工区の進捗状況が説明され、吾妻西バイパス厚田、岩下間の工事が、新間にも出ているように縄文の遺跡が出たため、平成31年完成から延びてしまつとの報告がありました。

地方創生調査 特別委員会

主なアクションプランの進捗状況について説明を受け、これから実行していくものについて質疑

しました。空き家バンクは要綱を策定し、事業者・不動産業者吾妻支部と相談し、空き家登録をして平成31年度より利用、活用していきます。住宅について町有地分譲、販売を考えていく方向。移住について特例は考えているか、企業誘致は進んでいるかなど質疑があり、各事業をチェックしていきます。

議会広報対策 特別委員会

11月14日、群馬県市町村会館において、群馬県町村議会議長会主催の議会広報研修会に、議会広報対策特別委員会7名の委員及び事務局員1名で出席しました。

第一部は、エディターで広報アナリストの吉村潔氏による「住民に読まれ支持される広報づくりのポイント」という講演でした。明朝体・ゴシック体などの文字の性格や

写真図版の効果についての話がありました。

第二部は、「議会広報クリニク」として、玉村町議会の「おいでよ、議会へ」と長野原町議会の「議会だより」が示されました。玉村町議会のは24ページあり、内容豊富なものでした。長野原町議会のものは、表紙・裏表紙とも郡大会3位入賞の消防団ポンプ操法大会の躍動的な写真が印象的でした。



昨年11月に群馬県市町村会館で行われた広報研修会

まちの声

「日々平穩の幸せ」

金澤 ふじ子さん (植栗)

平成最後の年も明け、もう1ヶ月が過ぎようとしています。元号が「平成」となった日、家族写真を庭で撮った事がとても懐かしく思い出されます。

平成7年1月には阪神淡路大震災があり、その春に元いた職場に再就職。その直後に夫の突然死。義父と子供3人との生活が始まりました。当時、今以上悲しい出来事が起こらないでほしいと、ただただ願いながら過ごしていました。いつもの生活がどんなにありがたい事か。今は毎日何気なくボーと過ごしていますが、春夏秋冬、その季節の恵を生かして楽しめる事ができる幸せを感じています。

実家の母は今年の春で97歳になりますが、介護保険を利用する事なく縫い物をしながら（私の姉がリボン刺しゅうした布でポーチを作っている）毎日を送っています。今年も暖くなれば畑に行く事で

しょう。以前、母に「この歳になっても自分の事は自分でできて幸せだね」と言ったら「皆の為にも役立っている」と気丈の返事が。「野良仕事をしている時には読めなかった本がやっと読める」と。何かに挑戦する気持ち、誰かの役に立っている事が生涯現役でいられるのだと思う。この年になってようやく気づきました。自分の目標であり自慢の母である事が。一緒に住んでいる姉は毎日大変だと思いますが。

2人に1人は癌になると言われる時代です。母の様に長生きはできないでしょうが、せめて筋力は衰えないよう意識し、生活の中に運動は取り入れ続けようと思う。新しい元号の年、今年も家族写真を同じ場所で撮ろうと思っています。30年間、さまざまな事があった平成でした。「記録的災害」と何度も言われる様になり不安ですが、大きな災害が起こらない事と、ごくあたりまえの毎日が送れる事を願っています。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月4日開会予定

3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
	本会議	本会議	常委	常委	特委	
10	11	12	13	14	15	16
	特委 全協			本会議	本会議	

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

新年おめでとうございま
す。1月8日、新庁舎にて最
初の編集会議を行いました。
この日は、30年前に元
号が昭和から平成に変わっ
た日でもあります。
天皇陛下は4月30日に退
位され、5月1日に平成に
続く新元号となります。ど
んな元号となるかとても興
味があり、早く知りたいも
のです。
さて、今回の編集では、
12月定例会を中心に議会報
告会、中学生議会など盛り

議会広報対策特別委員会
委員長 根津光儀
副委員長 重野能之
委員 里見武二
委員 茂木恒敏
委員 金澤
委員 青柳はるみ
委員 須崎幸一

沢山となりました。
読者のみなさんが、記事
を読んでいただけるように
正確でわかりやすい紙面作
りに努めましたのでご一読
ください。
(須崎幸一)

編集後記